

学 校 だ よ り
は す

ぬ ま

ち ゅ う

か が み

蓮 沼 中 鏡

平成28年度 第16号

平成28年12月22日発行

大田区立蓮沼中学校

校長 大原章博

十干十二支について 来年の干支は「酉」

いろいろな行事が続いた2学期も、無事終わることができました。生徒は各行事に意欲的に取り組んでくれました。中学校生活の思い出の一ページを刻んだことと思います。

さて、明日から冬休みになります。今年度の冬休みは、例年に比べて18日間と長い休みになります。新しい年もこの休みの間に迎えることになります。新年を迎えるにあたって、干支について述べたいと思います。

十干は、数を表す単位で、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸(こう・おつ・へい・てい・ぼ・き・こう・しん・じん・き)の10種あります。これに陰陽五行説の木・火・土・金・水、陽・兄(え)、陰・弟(と)とを結びつけて甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸(きのえ・きのと・ひのえ・ひのと・つちのえ・つちのと・かのえ・かのと・みずのえ・みずのと)と呼んだものです。

十二支も同様に順序を表す記号で、子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥(し・ちゅう・いん・ぼう・しん・し・ご・び・しん・ゆう・じゅつ・がい)の12種あります。これらを12の動物にあてはめたのです。日本では、ね(鼠)・うし(牛)・とら(虎)・う(兎)・たつ(竜)・み(蛇)・うま(馬)・ひつじ(羊)・さる(猿)・とり(鶏)・いぬ(犬)・い(猪)と呼んでいます。

この十干十二支を組み合わせて、年月や時間の単位、方角を表しました。歴史に出てくる「戊辰戦争」や「甲子園」はここからきています。十干の「干」と十二支の「支」を合わせて干支(えと)と言うのです。

来年(平成29年・西暦2017年)の干支は、正確には「丁酉(ひのと・とり)」となります。酉という漢字はあまり使うことがありません。目にするのは、毎年11月に行われる「酉の市」ではないかと思えます。この「酉」は「鳥」や「鶏」ではないので注意が必要です。しかし「酉」はニワトリのことを表しています。もともと酉の由来は、「果実が極限まで熟した状態・酒熟して気の漏れる状態」を表していて、物事が頂点まで極まった状態を言うのです。また、酉(とり)は「取り込む」繋がるといわれ、そこから運氣もお客も取り込めるということで、商売繁盛となる年とも言われます。つまり、習い事などで結果が得られたり、学問や商売などで成果が得られるかもしれません。

このような新年を迎えるにあたって、皆さんはどんな目標をもち、どんな年にしようか、じっくりと考えてもらいたいものです。

保護者の皆様へ

日頃は本校の教育活動にご協力とご理解をいただき、誠にありがとうございます。

先日実施させていただいた生活アンケートにもご協力いただきありがとうございました。皆様が本校に関心を持っていただいていることを大変うれしく思います。引き続き、保護者と学校が協力して生徒の健全育成に尽くし、「蓮中維新 進取の精神」を推進していきたいと思えます。

また、冬休みは、特に生徒の生活リズムを守るためにも、ご協力していただけるようお願いいたします。中学生だからこそ、家庭での声掛けや支援が必要だということ意識していただきたいと思えます。

出前授業 専門学科等の授業体験

12月9日(金)は2年生で、16日(金)は1年生で、それぞれ上級学校の先生方をお招きして、出前授業を行いました。

2年生は、高校の工業科や商業科という将来の職業に直結する内容の授業でした。(大森学園電気科、東京実業ITコース、品川エトワール国際キャリアコース、駒場学園食物科、昭和鉄道運輸科)1年生は、専門学校、高等専修学校の授業を体験しました。国際理容美容専門学校(美容の仕事)、二葉ファッションアカデミー(スタイリングマップ作成とピンワークデモンストレーション)、日本芸術高等学園(ダンス)、東放学園高等専修学校(パントマイム)、大森家政専門学校(タオルでつくるかわいいお手ふきドレス)、東京スクールオブミュージック&ダンス(声優アフレコレッスン)の6コースに分かれての体験授業でした。生徒は、自分の希望に沿って特別な授業を受けました。すべての授業が普通科高校では経験できない内容のもので、貴重な経験になりました。



三者面談を終えて

12月1日(木)から1週間、三者面談を全校一斉に行いました。

3年生は、いよいよ進路先の目標を決め、受験等の準備をする大切な面談でした。自分の成績と希望を基に担任と中身の濃い話合いが展開されました。1、2年生は、2学期までの学校生活、学習、家庭での生活などについて話し合わせ、1つ上の学年に進級するための心構えや、冬休み、三学期の生活について何をすべきか、学校と家庭が協力していくことの共通理解を図ることができたと思います。

前号にも書かせていただきましたが、子どもの健全育成のためには、「学校でできること」「家庭で行うこと」をしっかりと理解し、協力をしていかななくてはなりません。その一つとして、三者面談を行っています。今後とも、手を取り合って子どもたちのために第一を考え、教育活動を展開していきたいと思っています。

小学生学校見学会

12月8日(木)、徳持小学校とおなづか小学校の6年生を本校に迎えて、「小学生学校見学・学校紹介」を行いました。

体育館に集合し、クラスごとに学校見学をしてから、生徒会役員によるパワーポイントを使った学校紹介を聞きました。今年度の生徒会役員は、運動部の練習風景や蓮中祭での文化部の舞台発表を動画で紹介しました。6年生の多くが、中学校の部活動に興味があるとのことでの配慮です。昨年度よりも今年度というように、生徒会役員もその説明に工夫を凝らしていました。

6年生も体育座り、私語もなく、しっかり説明を聞いていました。



生徒の活躍

人権啓発作品展12/2~9出品

ポスター(2C倉方「町と私、盲導犬」・2C新藤「声をかけよう」)

標語(1A國藤「いじめみて 君の言葉で 止めようよ」
1B大竹「思いやり 小さな勇気が 世界を変える」)

習字(1C大関「人権の尊重」・1D佐野「自由平等」)

